

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年2月1日

事業所名:宝塚市立子ども発達支援センター

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	毎朝のミーティング時に、各クラスの保育内容等の確認をし、スペース確保のための調整を行っています。また、児童の興味が分散するように遊具を組んだり、グループに分けて活動するなどの工夫をしています。	はい(49/54)、どちらともいえない(3/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「汗をかくぐらい走り回って遊んでいるので十分だと思います」「設備が整っているので満足です」などがありました	限られた広さの保育室で安全面に配慮して療育を行っています。引き続き工夫しながら環境を整えていきます。
	2 職員の適切な配置	国基準以上の職員を配置しています。	はい(52/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「複数の先生が見守ってくださっている安心感がある」「一人になることがあまりなく、誰かしら見てくれて手厚いと思います」「先生は充分すぎるほどいてくださるので助かります」などがありました。	今後も、研修への参加、自己啓発、引継ぎなどを通じてスキルアップに努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真、絵カード、マーク、矢印等を利用し、わかりやすい配慮をしています。	はい(52/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「シールを貼ったり絵や写真で行動を示して下さっており、わかりやすいと思います」などがありました。	引き続き配慮した環境となるよう取り組みます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	実施前後には清掃を行い、清潔な環境で療育できるよう心がけています。また、必要な個所は順次修繕等を行っています。	はい(48/54)、どちらともいえない(5/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「職員の方々の努力で整っているが、老朽化が気になる」「清掃は行き届いているが、大人用のトイレが古く感じる」などがありました。	ご指摘のとおり、施設は老朽化しており、大変ご不便をおかけしています。毎日清掃に努めていますが、細かな個所にも配慮するよう気を付けます。また、遊具等の老朽については順次取り換えるなど対応を検討してまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	部門ごとのふり返しを行うとともに、第三者からの指摘を受けてセンター全体で研修を行い、係長級以上の職員による毎月定例の会議を開催し、課題としていることや、進捗状況を把握しながら、当センターの今後の方向性について検討を行っています。		引き続き実施します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。		第三者による外部評価は実施していませんが、毎年事務事業評価を実施しており、今後もその枠組みの中で業務改善を行ってまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	兵庫県知的障害者施設協会阪丹但地区や近畿肢体不自由児施設連絡協議会が主催する研修会のほか、宝塚市、兵庫県、民間事業者等が主催する研修会にも参加し、スキルアップを図っています。		引き続き実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	事前に保護者のニーズを聴き取り、それを踏まえたうえで、児童の発達に合わせた個別支援計画を作成して保護者からの同意を得ています。	はい(51/54)、どちらともいえない(0/54)、いいえ(1/54)、わからない(1/54)、無回答(1/54) ご意見として「保護者にアンケートを取ってくれて、それを踏まえての計画を立ててくれてありがたいです」「食べ方、運動の指導が多いので親の負担が大きい」などがありました。	引き続き実施します。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の児童の発達に合った対応等を十分に検討し、保護者からの要望等も踏まえたうえで計画書を作成しています。		引き続き実施します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の発達支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容としています。	はい(50/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(2/54)、無回答(1/54) ご意見として「担任の先生を筆頭によく一人一人の事を見てくださっていると感じます」「子の特性に合わせた計画の設定がされている」などがありました。	引き続き実施します。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	半年ごとに児童発達支援計画の見直し及び作成を行い、計画に沿った支援を実施しています。	はい(50/54)、どちらともいえない(0/54)、いいえ(1/54)、わからない(2/54)、無回答(1/54) ご意見として「少しずつ成長が感じられ、できる事が増えて嬉しいです」というものでした。	引き続き計画に沿った支援を行うとともに、保護者の方にわかりやすく説明することに努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	療育開始前の打ち合わせや、事後の話し合いを通じてチームでプログラムを立案しています。		引き続き実施します。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	療育時間外においても相談があれば丁寧に対応しています。		引き続き実施します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	会議等計画的な活動プログラムの検討を行い、固定化、形骸化しないよう工夫しています。	はい(49/54)、どちらともいえない(3/54)、いいえ(0/54)、わからない(1/54)、無回答(1/54) ご意見として「遊ぶ場所プログラム共に工夫されていて、毎日とても満足しています」「毎回様々な遊びができ、楽しんでいる」などがありました。	今後も変化に富んだプログラムの実施と繰り返し継続しているプログラムとを使い分けながら児童の特性や発達にあった内容となるよう取り組みます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育開始前の打ち合わせで、支援内容、役割分担、注意点などの確認を行っています。		引き続き実施します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、振り返りを行い、職員間で情報共有を行っています。		引き続き実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	児童の活動や支援内容の記録を行うことで、事後に検証、改善できるようにしています。	引き続き実施します。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日常の様子や記録等に基づき、半年ごとに児童発達支援計画の見直し及び作成を行い、計画に沿った支援を実施しています。	引き続き実施します。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	センターに併設された相談支援室と連携して必要に応じて協議に参加しています。	引き続き実施します。
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	必要に応じて、関係機関と連携を図っています。	関係機関との連携がより円滑となるよう、医療的ケアを必要とする支援マニュアルに則って対応します。
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	センターに併設された診療所医師とも連携を図りながら、協力医療機関とも連絡を取り合い、必要であれば関係者が集まり協議をして対応しています。	関係機関との連携がより円滑となるよう、医療的ケアを必要とする支援マニュアルに則って対応します。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	引き継ぎ書を作成して必要に応じて施設を訪問して情報共有を行っています。	引き続き実施します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	センターに併設された相談支援室や診療所と連携して、児童発達支援センターの機能を活かした支援を行っています。	引き続き実施します。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	センター内のクラスの特性や保護者からの希望に応じて、市内の保育所や幼稚園との交流機会を設けています。なお、対象年齢が1歳～3歳児を対象としたあそびっこクラスにおいては実施していません。	はい(30/54)、どちらともいえない(5/54)、いいえ(6/54)、わからない(12/54)、無回答(1/54)ご意見として「もう少し交流を増やしてほしい」などがありました。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	感染症対策として、地域住民に行事への案内は控えていますが、普段は託児のほか、保育や療育に必要な物品や用品の作成、行事等の看板製作に地域ボランティアの協力をいただいたり、周辺の学校等からの実習生の受け入れを行っています。		引き続き感染症対策に留意し実施します。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容及び利用者負担等については、契約時に、重要事項説明書及び利用負担の詳細を説明する資料を提示し、丁寧な説明を心がけています。	はい(51/54)、どちらともいえない(2/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「毎回しっかりと時間をとって説明して下さり助かります」というものでした。	引き続き実施します。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に丁寧に説明しています。	はい(52/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「定期的に時間を作って説明してくれています」というものでした。	引き続き実施します。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者勉強会などを通じて、ペアレントトレーニングを実施しています。また、親子登園のクラスにおいては登園時にその都度、子どもへの関わり方などの助言等を行っています。	はい(43/54)、どちらともいえない(4/54)、いいえ(3/54)、わからない(3/54)、無回答(1/54) ご意見として「親子遊びや参観、勉強会が定期的にある、とても良い経験になっています」「勉強会があり学べる機会がある。父を対象としたトレーニングをして欲しい」などがありました。	感染症対策に留意しながら保護者に来園していただく機会を増やしていきたいと考えています。また、親子登園のクラスにおいては、引き続き、随時助言等を行います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡ノートを通じて、保護者との情報共有を行っています。親子登園のクラスにおいてはその都度、家庭での児童の様子などの情報共有を行っています。	はい(53/54)、どちらともいえない(0/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「連絡帳でやり取りしている」「お電話や連絡帳、いつもよく見てくださっているのが伝わってきます」などがありました。	情報の共有は重要であると考えており、できる限り保護者と職員が会話をする機会を増やしていきたいと考えています。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	クラス担当職員が悩み等を伺い、対応していますが、解決困難事例については、センター内で相談、検討し対応しています。	はい(50/54)、どちらともいえない(3/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(1/54) ご意見として「家でできる事を聞かせてもらってます」「困りごとや課題など面談時にいろいろ教えていただけてありがたいです」などがありました。	引き続き実施します。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	クラス懇談会や保護者勉強会等で保護者の方同士が話し合う機会を設けています。	はい(35/54)、どちらともいえない(5/54)、いいえ(0/54)、わからない(2/54)、無回答(12/54) ご意見として「交流会を通して保護者間で情報交換や共有ができていてとても良いと思います」などがありました。	クラス懇談会を増やすなど、保護者同士の交流できる機会を検討します。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者への周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	担当職員や児童発達支援管理責任者が苦情の内容に応じて迅速かつ適切に対応しています。全体に関わることや要望に関しては、センター全体及び市の所管部局で対応しています。	はい(29/54)、どちらともいえない(6/54)、いいえ(0/54)、わからない(7/54)、無回答(12/54) ご意見として「バスの席などすぐに対応してもらい満足しています」などがありました。	引き続き実施します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	例えば視覚支援を用いた環境を整え、意思疎通を図っています。保護者の方へは、日々の連絡ノート等を通じて情報を共有しています。	はい(41/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(0/54)、無回答(12/54)	引き続き実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事等のお知らせや感染症への留意事項など必要に応じて情報を発信しています。	はい(35/54)、どちらともいえない(4/54)、いいえ(1/54)、わからない(2/54)、無回答(12/54)	新たな情報や重要な情報はホームページに反映するなどして早めに周知できるように努めます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関して契約時に同意書を取り、守秘義務を遵守しています。	はい(39/54)、どちらともいえない(0/54)、いいえ(0/54)、わからない(3/54)、無回答(12/54)	個人情報は厳重に取り扱うとともに、職員向け個人情報に係る研修を実施するなど、職員の資質向上に努めます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	災害対応マニュアル、感染症対策マニュアル、不審者侵入対策マニュアルを策定し、職員及び保護者への周知を行っています。	はい(39/54)、どちらともいえない(2/54)、いいえ(0/54)、わからない(1/54)、無回答(12/54)	引き続き実施します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月1回程度の避難訓練を実施し、その都度児童の様子や避難状況を記録することで、確認しています。	はい(38/54)、どちらともいえない(1/54)、いいえ(0/54)、わからない(3/54)、無回答(12/54)	引き続き実施します。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止のための指針を作成し、職員研修の実施及び虐待防止の研修への参加、研修内容の回覧等を行い、共有しています。		引き続き実施します。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	児童の安全上必要な場合には、会議等で協議検討し、保護者へ説明を行い了解を得たうえで、必要な措置を行っています。		引き続き実施します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのある児童については、かかりつけ医師の診断書を提出していただき、診断書に基づいて給食対応をしています。また、トレー色を分けたり、緊急対応手順の確認を行うことで、事故発生の防止に努めています。		引き続き実施します。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事案があった場合には、口頭及び書面での報告と共有を行い、施設全体で再発防止に取り組んでいます。		引き続き実施します。